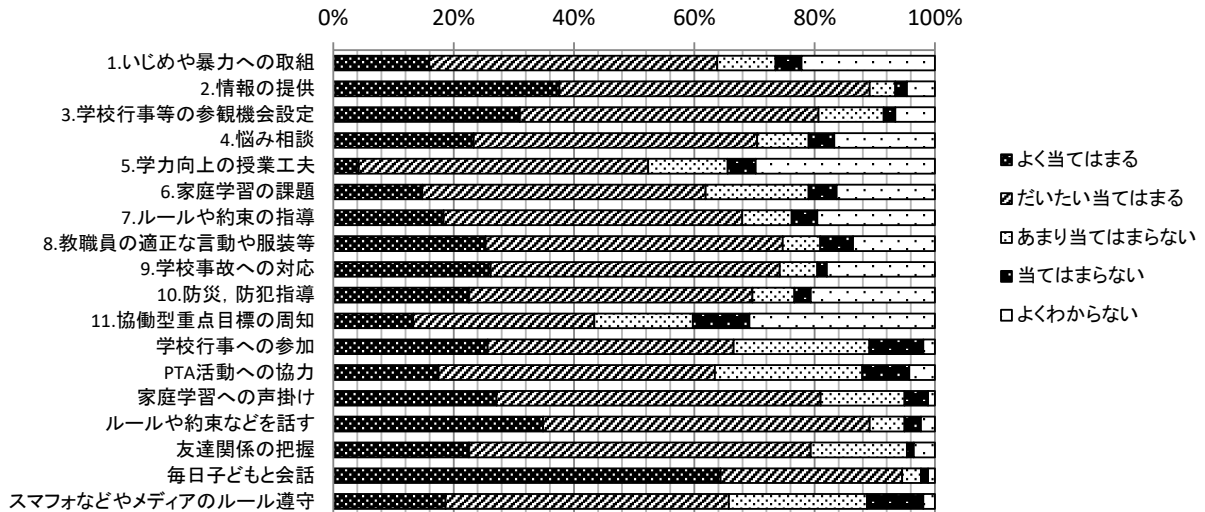


令和3年度 保護者アンケート



【自由記述】 よりよい教育を推進するために必要と思われる学校への前向きなご意見・ご要望について 保護者からのご意見・要望

- ・子どもへの声掛け等により学校が楽しい場所につながっている。
- ・学校全体の学力向上のため、中間、期末考査前と考査結果に応じた補充学習を実施してほしい。
- ・南門から登下校する生徒の見守りと地域巡視をお願いしたい。
- ・「ノーメディア・タイム」を継続実施してほしい。
- ・通学時のカバンが重すぎることに改善を図ってほしい。
- ・制服ではなく、コロナの面からもジャージ登校にしてほしい。
- ・教員の言動について、大変不快な思いをし憤りを感じた。担任の先生ではない。
- ・熱心な指導により、苦手教科が好きになった。
- ・入学当初の課題の提示について、生活ペースも上手く作れず、課題は一律ではないようお願いしたい。
- ・生徒は多感な時期でもあり、先生からの言葉でやる気が出たり、失われたりする。
- ・教員の欠員対応について、遅すぎる。
- ・係や役割など、機会をとらえて成長するチャンスを与えてもらい、とてもありがたい。
- ・授業参観など土曜日に参加できる学校行事を増やしてほしい。
- ・コロナが収束したら、学校公開など子どもたちの様子を見る機会を増やしてほしい。
- ・学校行事に参加しているが、お知らせをもっと早く出してほしい。遅くて参加できなかった。
- ・生徒同士で解決できず、先生に相談したのに「自分達で解決してください」と先生に言われた。
- ・トラブルが生じた際に、適切な対応をしてもらっている。双方からの話にしっかり耳を傾けて指導している。
- ・情報提供について、HPの新着情報をもう少し多めに更新してほしい。
- ・ある授業では優秀な子を優先的に見回り、理解していない子は放置されていると子どもは思っている。
- ・学校のお便りはいつもクラス内のことを丁寧に教えてくれるので、ありがたい。
- ・クロムブックを家で使えるようにしてほしい。家で授業を受けられると良い。
- ・授業参観や合唱コンクール、運動会など行事において、積極的に保護者に公開され感謝している。
- ・行事などの教育活動を精査して、子供に大切なものは残し、そうでないものは切るのも必要かと思う。
- ・S字カーブの登下校時の横断、非常に危険である。車が止まってくれるのが当たり前かのように横断する。

【アンケートの分析および今後の対応について】

今年度のアンケートは、昨年度に引き続き無記名で、広くたくさんの意見をいただく目的で行いました。アンケート項目の1～11は、学校の活動に関する質問でした。「よく当てはまる」と「だいたい当てはまる」を合わせたプラス評価がほとんどの項目で70%を超えておりおおむね良好な結果でございましたが、以下の点については課題が見られました。

「5.学力向上の授業工夫」のプラス評価が60%以下、「6.家庭学習の課題への評価」のプラス評価が70%以下となり、学力向上への取組の強化が課題となりました。新型コロナ対策の関係上、話し合い活動など制限があったものもございますが、引き続き生徒の学力向上に向け、各教科授業内容の工夫とともに、各学年の生徒の実態や状況を踏まえ、更なる努力をしていきたいと考えております。一方で、一律や一斉の対応だけでなく、個に応じた補習や、課題の提示のご意見もございましたので、検討してまいります。なお、教員の欠員に伴い、保護者の皆様には大変ご心配とご迷惑をお掛けしておりますが、生徒の利益を最優先し、本校における最大限の努力をしていますので、どうぞご理解いただきたいと思っております。

また、「11.協働型重点目標の周知」につきましては、昨年度に引き続き保護者への周知が不足していることを表す結果となりました。今年度も協働型学校評価の重点目標は「主体的に行動する生徒の育成」です。この目標に向け学校・地域・保護者が協力して取り組みたいと思っておりますので、ご協力をお願いします。

その他、たくさんいただいたご意見をもとに課題を検討し教育活動に生かしていきたいと思っております。個別に質問がある場合は、教頭までお問い合わせください。